

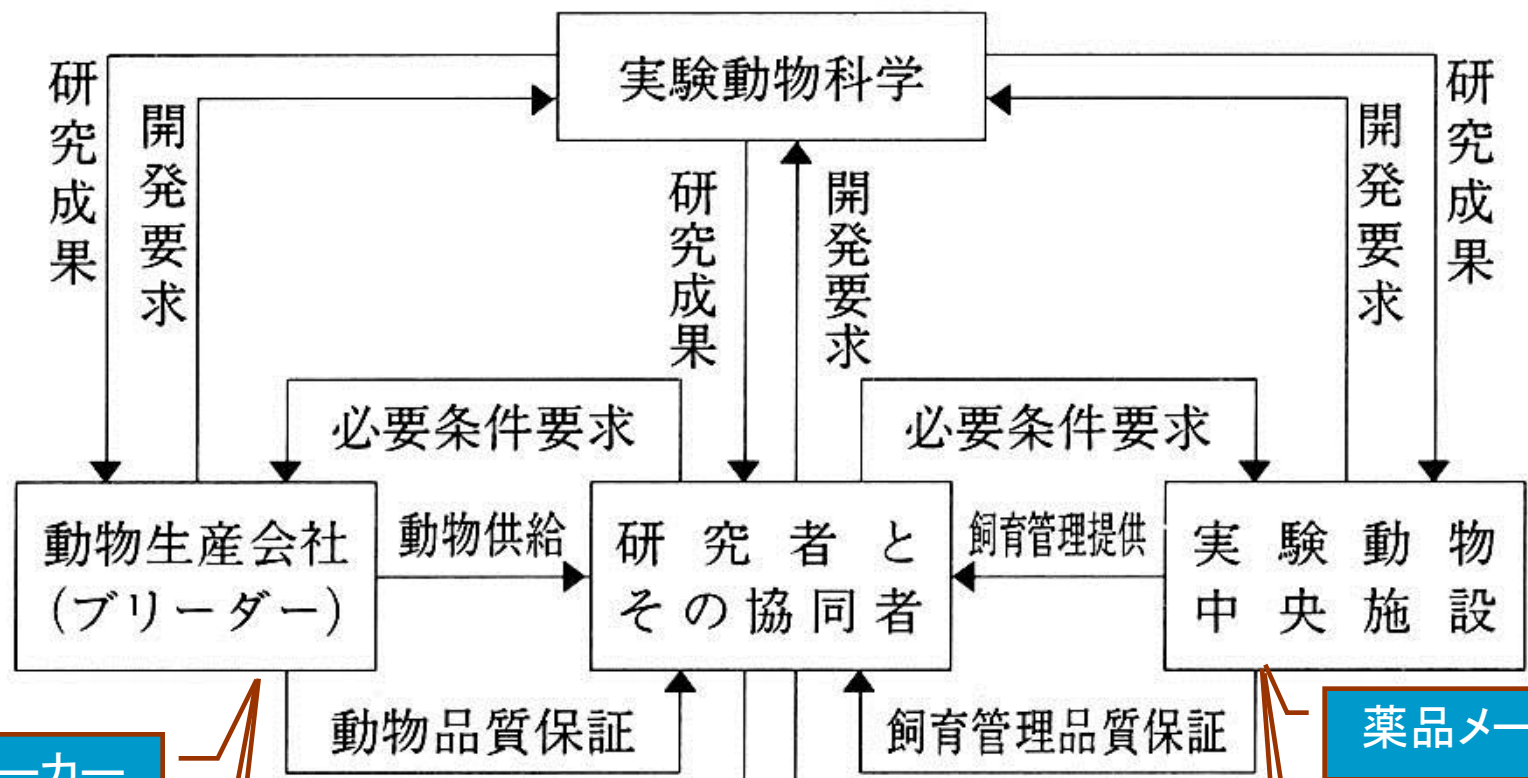
現役時代、「**動物実験の法規制が必要**」と主張してきましたし、
現在もその考えは変わっていません。

しかし、今は関連法改正の時機ではないと考えています。

理由は二つ

1. 現行法の下で進められている実務システムが
どのように機能するか見定めてから、改正点
を議論すべき
 - 現場がもたない。現場が疲弊する
2. 現在の政治状況。政争に明け暮れる議員達
に「動物関連法規」を、今の状況でいじくって
欲しくない
 - 理念無き条文変更が繰り返される
 - 実効が上がらないし、現場が疲弊する

実験動物分野に
どんな仕事がある？



- 飼料メーカー
- 機材メーカー
- 建設・設備

- 薬品メーカー
- 安全性試験機関
- 教育・研究機関

1. 実験結果の信頼性
2. 研究の効率化
3. 実験動物福祉の向上

実験動物を使用する研究にかかわる分業構造とその相互関係

北 徳 「動物実験指針 ーその根底に流れるものー」 日本実技協東北支部会報 21号 1998(改変)

実験動物施設の実験動物技術者として どんな仕事をしていたか①

■ 飼育作業

- 給餌
- 給水
- 床敷き交換
- ケージ交換
- 個体観察(個体の状況に応じた飼育を工夫)
- 飼育室等清掃(施設衛生管理)
- 機材洗浄(洗浄・滅菌等)

■ 設備管理

- 日常管理(飼育装置・空調機等の点検整備)
- 設備整備計画立案・執行

■ 運営事務

- 施設運営委員会関係事務(議案作成・委員会進行・議事録作成等)
- 労務管理(休暇取得・休日出勤等の管理)
- 予算管理(予算案作成・執行)
- 利用者名簿・利用状況管理(利用者資格と入退出管理)
- 実験動物在籍管理
 - 実験計画毎に入室・退室個体を把握し記録
 - 実験計画毎の使用動物数管理(計画承認頭数を超過する入室は不可)
- 飼育経費計算・請求事務
- 飼育資材在庫管理

実験動物施設の実験動物技術者として どんな仕事をしていたか②

■ 実験動物系統維持・繁殖

■ 動物実験計画の管理

- 動物実験計画実務審査(審査意見を実験委員会に報告)
- 実験実施状況モニタリング(指針違反を疑う事例について改善指示すると共に委員会に報告)

■ 実験者教育(利用者研修会実施など)

■ 技術指導・補助

■ 動物実験関連応談

■ その他業務

- 動物死体・廃棄物処理
- 焼却炉運転(現在は全て医療廃棄物として外注)
- 保健所より犬・猫もらい受け作業(現在は廃止)
- 有害鳥獣駆除ニホンザル捕獲・もらい受け作業(現在は廃止)

■ 学外研修活動

- 日本実験動物技術者協会
- 日本実験動物学会
- その他

夜中といわず、休日といわず、必ずどこかの研究室において、動物実験が行なわれている。それは医学の進歩のためすなわち人類の福祉のために多くの人々が研究のために働き、動物は黙々として犠牲になっているのである。それらの動物をよく知り、愛情をもって（図1）
ことにあたることは少なくとも動物実験を行なう人々の義務であると思う。

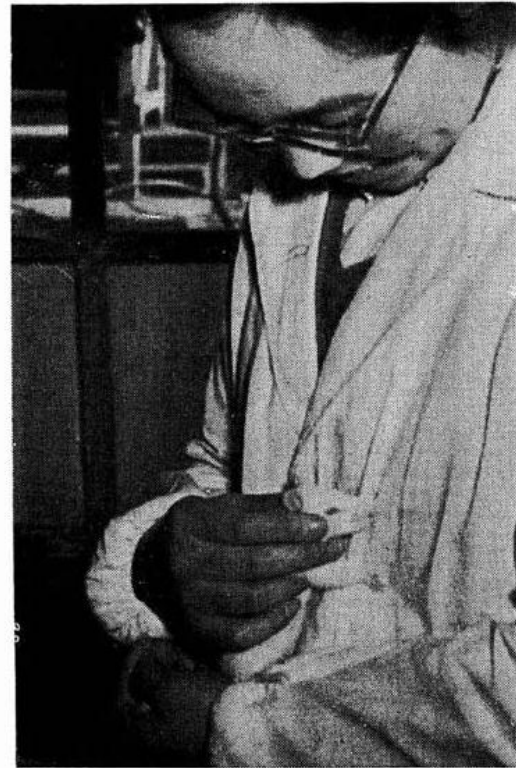
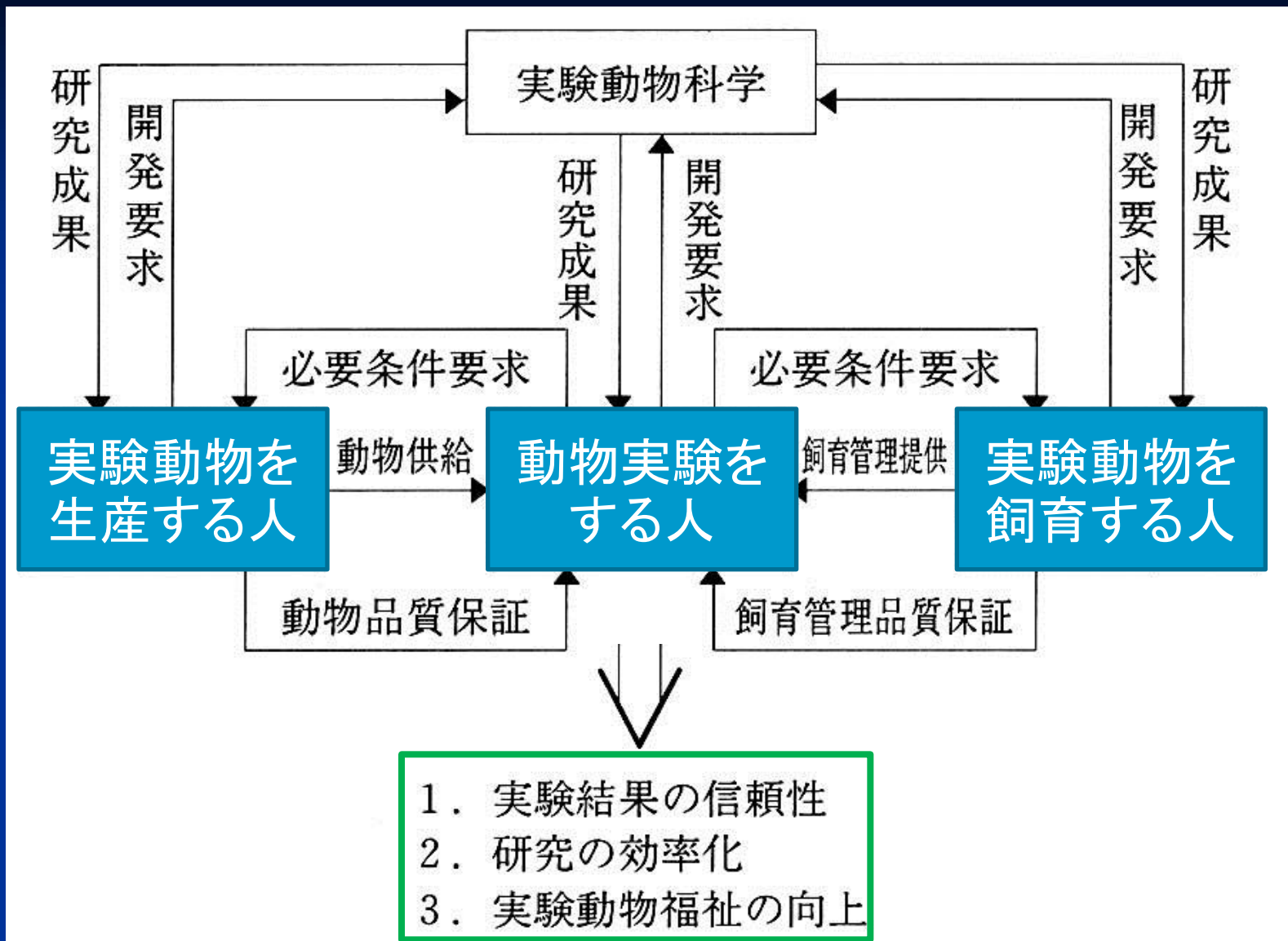


図1 愛情をもって

愛情を持って実験動物の世話をせよ
この頃までは、実験者自身が飼育管理もやりながら実験していた。



実験動物を使用する研究にかかわる分業構造とその相互関係

実験動物施設の現実

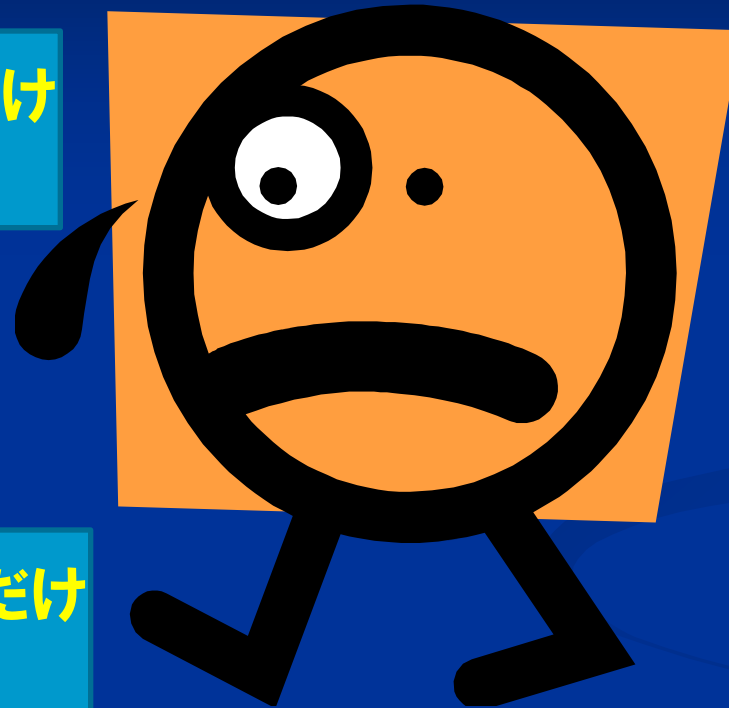
実験だけする人に囲まれて

動物実験**だけ**
する人

動物実験**だけ**
する人

動物実験**だけ**
する人

動物実験**だけ**
する人



愛情を持って？

簡単には通じないんだよなあ、これが...

同じ構図かも・・・

実験動物を
生産する人

動物実験**だけ**
する人

実験動物を
飼育する人

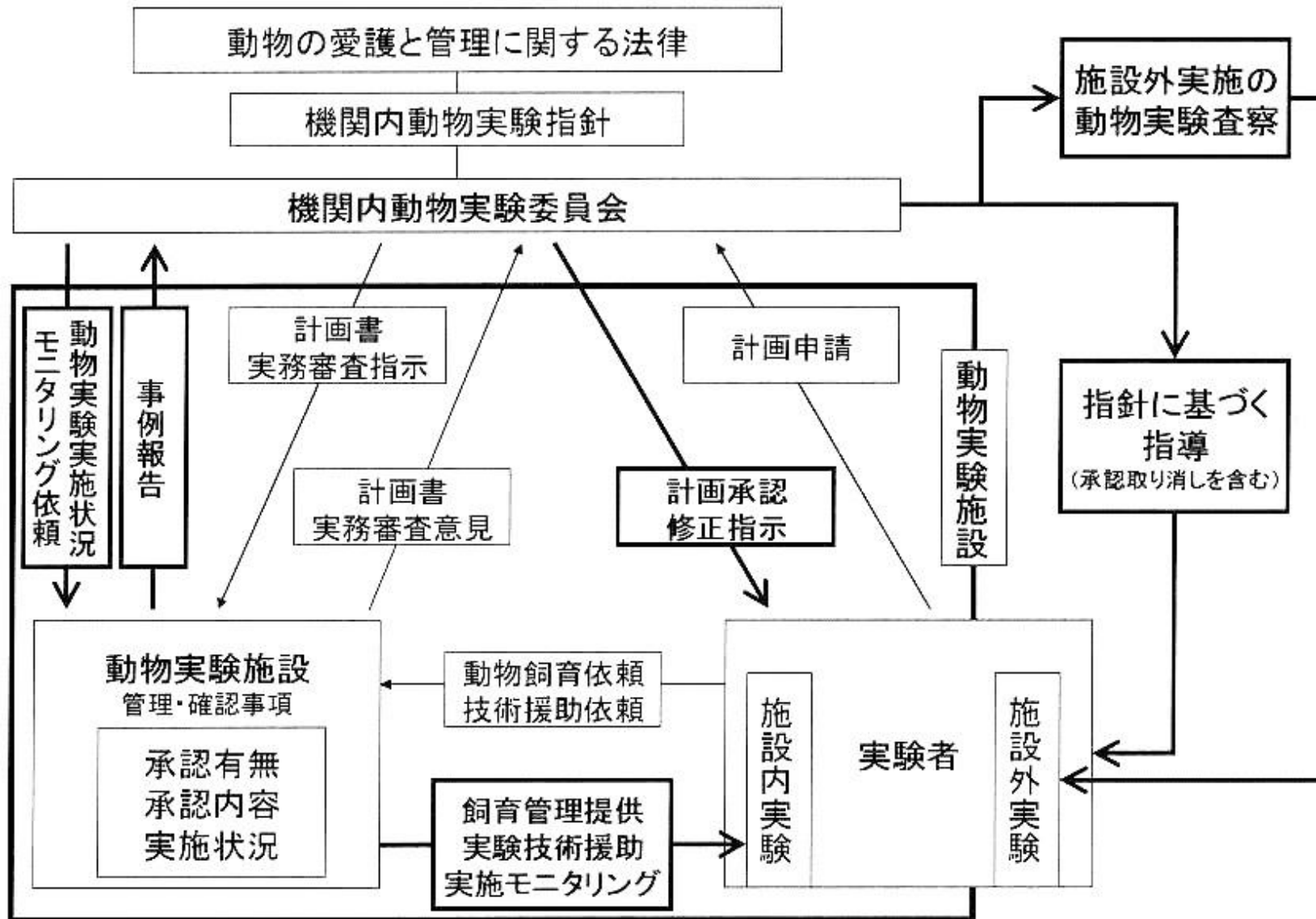
家畜を生産
する人

肉を食べる
だけの人

家畜を肉に
加工する人

2005年の改正以前に勤務する大学において実務として行っていたこと

動物実験実施状況モニタリング＝事例報告制度・査察制度



動物実験指針の下での 実験動物技術者の立場・役割

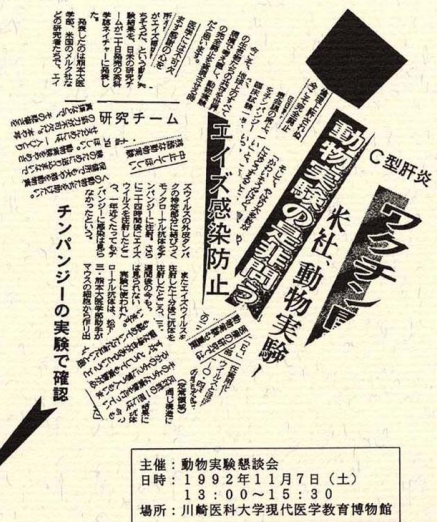
- 実験委員会委員として計画を審査する立場
- 委員会の委嘱によって計画を審査する立場
- 実験計画を申請し審査を受ける立場
- 実験現場での監視役
- 指針の理念に基づく実験動物管理実務
- 指針の理念に基づく施設運営管理実務

動物実験に関わる分業構造の中で「動物実験指針の理念を実験の現場において日常業務の中で具現化する」という役割が加わろうとしている・・・

実技協東北支部会報1989

「動物実験を考える」

動物実験懇談会編



ミニシンポジウム「動物実験を考える」

1992年11月7日(会場：川崎医大、倉敷市)

- 動物実験と実験動物(解説) 山本好男(滋賀医大)
- 動物愛護家として思うこと
 - 自然への遠慮 — M. マックリモン(岡山動物愛護会)
- 実験動物技術者として思うこと
 - 実験動物への非人道的行為と社会的背景について — 佐藤良夫(阪大・医)
- 実験動物技術者として思うこと
 - 錦の御旗が揺れている — 数田裕樹(日本ベーリンガーインゲルハイム)
- 廃止論者として思うこと
 - 価値観の転換を — 野上ふさ子(動物実験の廃止を求める会 JAVA)

「動物が好き」から倫理・福祉へ

動物が好き

だから

かわいがり世話をする

そして

おいしくいただく

真剣に丁寧に実験する

だから

獣肉を食べない

動物を実験に使うなんて許せない

私を悩ます疑問 → **どちらかだけが正しいのか？**

自分が従う倫理の枠組みは？

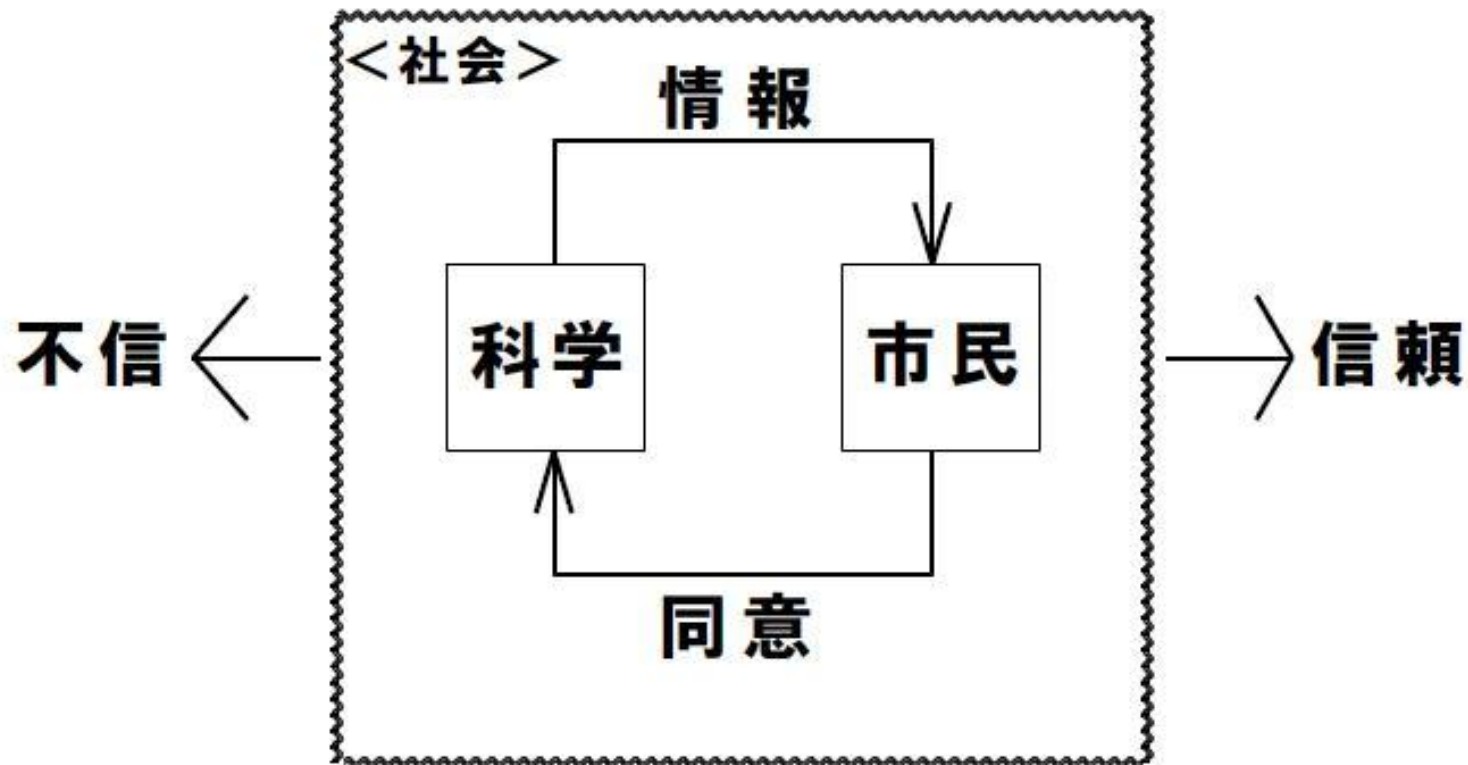
自分のとは違う倫理に従う人々との対応は？

研究の自由と 動物実験を拒否する自由との 衝突

- 自由と自由の衝突によって生じた社会的混乱が現行法の範囲内で調整できないとき、**現行法の改正あるいは新たな法の制定**が必要となる
- いま、「動物実験」を取り巻く社会状況は？
- 「動物実験に密接にかかわる私たち」の社会的位置は？

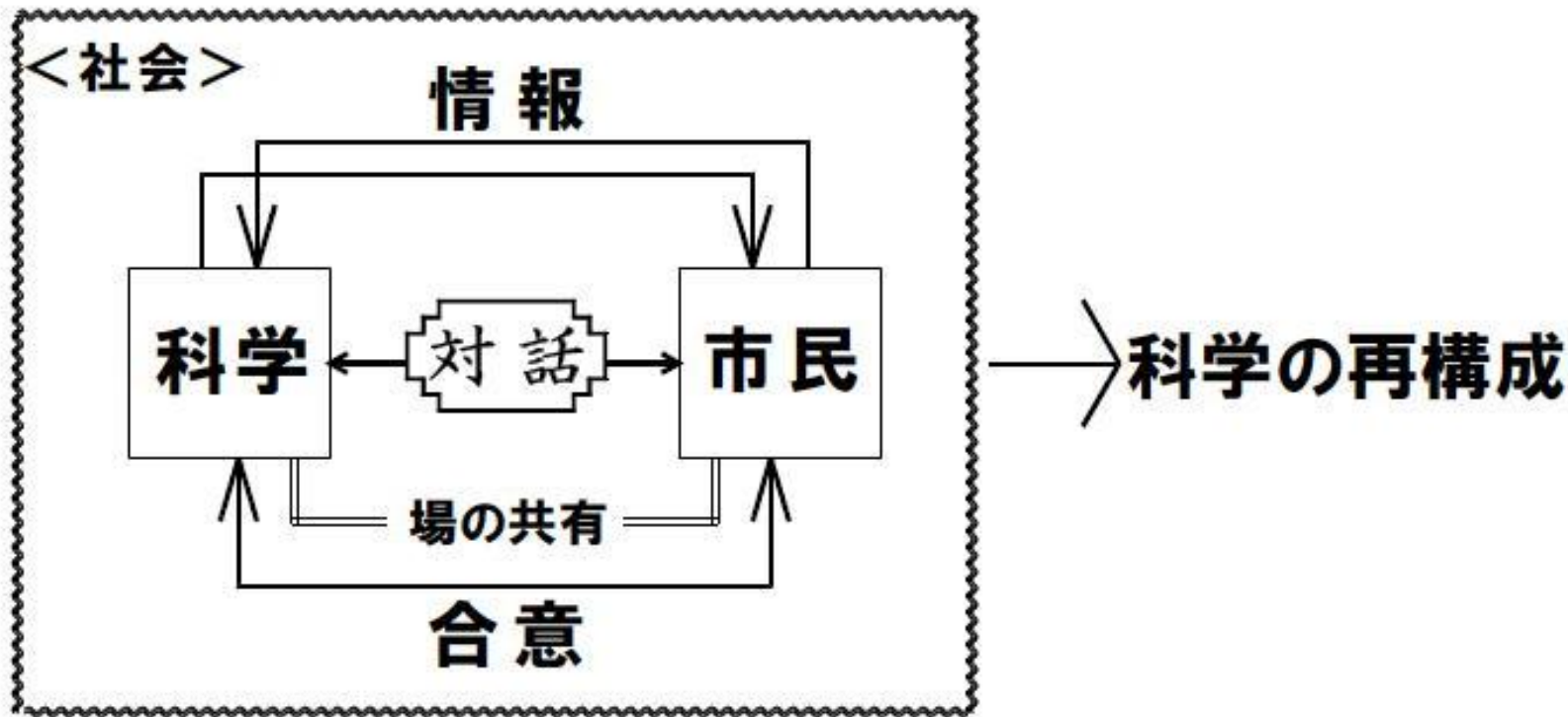
インフォームドコンセント

社会の中の科学



(ミニシンポジウム記録「動物実験を考える」 動物実験懇談会編 1993年)

科学の社会的再構成



- ◆情報は科学側、市民側の双方から互いに向けて提供されるものであり、科学のあり方は、双方がそれらの情報を基として交わす対話を通じて社会的に構成される。従って、科学のあり方は、その社会のあり方によって常に変化する。

「動愛法」改正は？

- 「動愛法」改正はゴールではない
- それは「信頼」回復のスタートに過ぎない
- 「動愛法」改正によって何がどう変化したかを社会に明示する具体的な努力を継続しなければならない

ヒトは動物にとっての環境である

- 存在
- 動き
- 雰囲気
- 感触
- 技術
- ハート

動物の専門家

Animals respond in some way to the approach or presence of a human

動物は、人の働きかけや存在に対して何らかの形で反応する

自分の存在を動物に認めてもらえなければ
知識も技術も役に立たない